

SINCE 2005

Vol.209
monthly issue

あつち通信

September 2022



特集 昭和44年8月18日

忘れられない 夏の思い出 〈後編〉



上段左より よったか、あきじん、しんきょう、
下段左より ようちん、なおき、だいちん、三尾先生、台岳先生、桂川先生

一緒に山に登った6人は今も全員加子母に在住、
元気に暮らしております。
あれから53年も過ぎました....

翌年(1970年8月)の夏休み、僕は念願が叶って小秀山に登頂しました。途中、かぶと岩でのスナップ。

忘れられない夏の思い出

後編

ガスは濃くなるばかり

さて、僕らの先行きに暗雲が立ちこめる頃、時を同じくして夏の高校野球の決勝・松山商業と三沢高校は史上屈指の名勝負を演じていた。松山商・井上三沢・太田による投手戦は、互いに無得点のまま続いていた。ラジオから聴こえる実況の人声は、突然のガスで行き先を見失った僕達の心に少しだけ勇気をくれていた。予定通りに進めない僕らの焦りと失望感と、一点も与えら

き集めた食料を食べる事に。各自おにぎり一個と缶コーラを二人で半分づつに分け合っで飲んだ。残りの半分は明日の朝食用として確保。ゆるくて美味しくはないけれど水源を超えたこの地点では貴重な水分補給だ。「本当ならもう下山して、今はふもとの小秀荘辺りだな」ふと桂川先生が言った。先生達はその後、山での注意点を色々話してくれた。そうこうしているうちに日も暮れだした。次第にガスの霧が晴れ、辺りの景色がはつきりと確認できるようになってきた。見晴らしの良さそうなところを探して木に登り辺りを見渡してみる。下界らしき方向に小さく人家の明かりが見えた。「あそこどこやら?」「小郷かなあ?」「竹原かなあ?」彼方の窓灯りを見ているうちに皆の心にそれぞれ家のことが去来した。今頃家の人は心配しとるやろうな...、夕方には帰ってくるはずが全く消息が途絶えているのだから...と。



「子供達が先生と山に行ったり帰ったりない」「どこかで事故に遭ったんやないか?」「先生が三人ついででドサない。」「いやわからん、足を滑らして谷底に落ちてるかもしれない!」話は一気に村を駆け巡り、学校では先生方が集まり緊急職員会議が始まった。役場では消防団の山狩りが検討されていた。子供達の両親も学校に集まり今後の行動を検討していた。実際、引率した先生達の心中も穏やかではなかった。「えらい事になうた、学校は大騒ぎだろうな?」「とにかく何としても無事に下山せんといかん」桂川先生が言った。続けて三尾先生が「ええか、火を絶やすんやないぞ」八月とはいえ山の気温は低い。体を温め続けなければならぬ。「もつと薪を集めてくる」と三尾先生が出かけて行った。木々をかき分け周辺で枯れ木を集めていた時、何者かの気配を感じた。ガサゴソと林の向こうの暗がり大きな黒い物体が動く。「まずい!熊や!」三尾先生は熊に気がつかないように後ずさりしながらゆっくりとみんなの所に戻った。熊が気配に気づいていなかったのが幸いだった。三尾先生は桂川先生に「近くに熊がいる」事を報告。そして熊が近づかないよう「晩中火を絶やさないうようにしたのだった。」

「何とか小秀山まで」登山を遂行する事を決意した僕ら。薄暗い視界の中、おぼつかない足元を確認しながら、隊列を崩さないよう前後の仲間の安否を確認しながらゆっくりと進んで行く。未だガスは晴れず周囲の暗さは増していく。桂川先生が先導し何とか先へ進もうとしていたが、どうやら同じところを行き来しているだけのようだった。「このままだとまずい。完全に迷ってしまう。」「口には出さないけれど、おそらくそこには誰もかそう感じていたに違いない。焦れば焦るほど、もがけばもがけほど、僕は山の天候に翻弄されていった。そんな空気に抗おうと時折杖先に振舞ってはみるものの、時間が経つにつれ足取りは確実に重くなり、やがて口数も少なくなっていた。加速度的に消耗していく体力、何より僕は意気消沈し、心の奥底で不安は恐怖に変わり始めていた。その様子を見かねたのが先生たちが集まり相談を始め、言った。「さうきの所まで引き返すぞ!この状態で先へと動いたら非常に危険だ。少し様子をみるが最悪の場合、今夜はこの山で野営をする!」桂川先生の三言で僕は標識の前山の三角地点まで引き返す事にした。そして桂川

一夜が明けて

前山は昨日の霧が嘘のように遠くまで晴れ渡っていた。彼方には北アルプスの雲海も見えた。一晩中、燃えていた焚き火は消えかかっていた。皆で残り半分の朝食を摂った後、現在地を確認するために辺りを散策、残り火を足で入念に踏み消し野営地を後にした。昨日引き返す事を決めた地点まで行き、少し歩くと前方に山肌からゴツゴツとした茶褐色の岩が突き出した景色が視界に飛び込んできた。「あつ!かぶと岩や!」よったかが叫んだ。一年前に行ったあの岩が現れたのだ。「昨日、霧が無かったらあそこまで行けたかも知れんな...」桂川先生が呟いた。皮肉なものである。行く手を遮っていた霧のカーテンはこんな近くの目印を隠し続けていたのだ。その時不意に下から「おーい」と人の声が聞こえた。「誰か叫ぶぞる!」だいちゃんが言ううとすかさず「ピーツ」と桂川先生が笛を吹いた。そこはちょうど前山から小秀へと向かう沢の辺りだった。沢の下方を見下ろすと「おーい、おーい」と叫びながら三人の人影がこちらに近づいてくる。その三人は、ようちんとだいちゃんのお父さん、あきじんの兄ちゃんだった。「みんな無事ですか?」村の郵便局長をしているようちんのお父さんが先生達に話しかけた。「お騒がせて申し訳ありません先生が探索した前山の頂上から少しだけ降りたすり鉢状の窪地を野営の基地としたのだった。そこで三尾先生がこれから成すべき行動を説明した。まず食料。皆が持参した食料をそれぞれが差し出す。集まったものは「ヨ」や「キャ」等のおやつ類と缶コーラだった。でも先生達は予備食としておにぎりを持参していて、それが幸いした。そして「ナイフ持参の者は寝床にする熊笹を刈ってくるように」「他の者は夜通し火を焚くので薪になるような木を集めてくるように」の指令に僕は動いた。薪は軽トラ一杯分も集まった。

前山で一夜を明かす

相変わらずガスは立ちこめてはいたが、野宿が決まっていたからには、家に帰れないことなどすっかり忘れて笹刈りや薪集めに没頭した。みんなそれぞれの役割をこなして寝る場所も用意、薪も十分集まった。桂川先生が焚き木に火をつけ、皆でその火を輪になつて囲む。「ウーン」ラジオから試合終了を伝えるサイレンの音が流れた。延長十八回で0対0、四時間十六分だったらしい。「長い試合やったなあ」「明日またやるみたいやよ!」しんきょうとなおきが話していた。勢いよく燃える焚き火に顔面が火照る。暖かくなり今までの緊張が少し和らいだのか皆に安堵の表情がみえ始めた。落ち着いたのでさう

「その日はカラッとした夏の天気では僕が家でテレビを観てたんです。日暮時に有線放送端末がただらぬ感じで鳴り響いて「山へ登ったアキちゃんしんちゃん達が夜になったのに戻ってない」という内容だった。「遭難」そんな言葉が頭を過った。家のおふくろも慌ててもっと詳しい情報をと弘法町に飛び出していった。小和知は一気に騒然となった。消防団の捜索隊を出そう、そんな話が出始めた。僕はその晩、眠れなかつたです。(小和知区在住 K氏談)



後日編集された「木曾越峠-小秀山縦走記」

わが家のPet!

小郷
丹羽琥珀ちゃん 3才 #26

あたしは、散歩の途中で動いているモノを見つけるとカラダが反応して追いかけてやるの。蛙や猫の動きが気になっちゃう。

ご主人があたしに聴いたときに『なあに?』と首を傾げる姿が『かわいい〜』と言ってくれるよ。

この顔も可愛いでしょ(^^)

by りえ

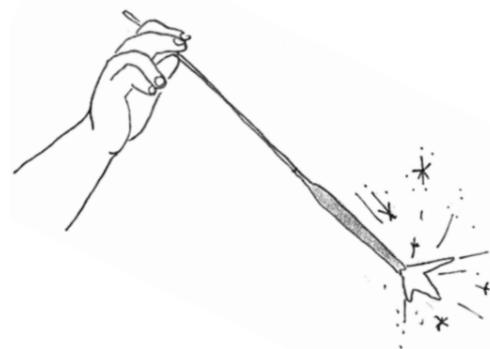


わたしもがしも vol.73



ちかこ
ズクで隠れる
ことごとくことごとく...

自暴自棄
します練習
して5分



佐野智哉のキヅキノート

家の前で、息子と花火を少しだけやりました。やってみると風情があって良いものですね。加子母では夏でも夜は涼しくて、蚊やセミも少なく快適に過ごせます。こんなふうな気持ちの良い夏の夜を過ごしている中でも秋の兆しを感じ、これから再び寒くなるのかと薪の蓄えが気になる今日この頃です。

70の牛飼い 〜牛舎の猫〜

飛騨牛の牛舎に生まれた子猫。確か、5匹だと思っていたが、今は4匹しか見えない。今日牛舎へ行ったら、床の上に大きめの座布団が置いてあって、何やらその座布団がモゴモゴ動いている。座布団は、猫の三毛やら、トラやら、白やらが混じり合って、ふっくらとして、暖かそう。私が近づいても、座布団に変化かない。よくよく見ると、親猫の乳を子猫がくわえている。親猫も気持ち良さそうに眼をつむっているし、子猫も当然のように眼をつむって、気持ち良さそうに乳を吸っている。今まで、私の顔を見ても知らんぷりで横を向いていた母猫が、最近、ニャーニャーと鳴きながら私の後を付いてくるようになった。いよいよこの母猫も、私の良さがわかってきたかと喜んでいましたが、そうでない事がわかった。母猫は、もうすぐ自立する、だいぶ大きくなってきた子猫に、充分な御乳をあげる必要があったのだ。で、そう好きでもない私にも「もっとエサをくれ」と言ってくっついて来ただけだったのだ。お母さん猫さん、ご苦労さん。



かしも通信文芸

短歌

田仕事も機械化となり秋空に高々とひびくコンバインの音 今井みち子

俳諧正調

書いた癖文字平仮名ばかり里へ帰れと母の文 安江柳月

俳諧正調

美濃と飛騨との農村歌舞伎知事も鏡で御挨拶 嶋崎涼舟



コウノトリ

	2021年度		2022年度	
	男	女	男	女
4月	0	0	0	1
5月	0	0	1	0
6月	0	0	1	0
7月	1	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	1		
10月	0	0		
11月	0	0		
12月	0	1		
1月	0	0		
2月	1	0		
3月	0	1		
計	2	3	2	1

(令和4年8月17日現在)

かしも明治座でプロのマジックショーが楽しめる! 「不思議のカタチ」by 小林浩平

皆さん、生でプロのマジックショーを見た事ありますか? 小林浩平さんはマジシャンとして日本でデビューし、上海に移りマジックショー、TV番組レギュラーとして長く中国を中心に大活躍されていました。コロナ禍で帰国し、現在は日本で活躍されています。明治座もコロナ禍で長く閉館状態でしたが、ようやく来館される方が戻ってきました。皆さん普通の生活を楽しもうという気持ちになってきつつあるんですね。そこで明治座活用委員会と、かしも通信で企画したマジックショー「不思議のカタチ」子供から大人まで、ご家族皆さんで楽しめるマジックショーです。面白く不思議な時間を是非お楽しみください!

9月25日(日) 開演13:30 (上演時間 約1時間)
大人1500円・小中学生1000円・幼児無料
問い合わせ・明治座79-3611(10時~4時)月曜休館
フリーマーケット同時開催予定

9/25(日)は明治座へ行こう!!



編集後記

編集長 / 秦

20年後の朝日町のために、誰かなんとかして、と人任せではなく自分が動くことを選択した人がいます。

その名は善田奈緒さん。

かしも通信のメンバーであります。富山県朝日町議会議員選挙に立候補し、見事当選しました。当選10人中2位の得票数を得たことから彼女に対する期待の高さが伺えます。

結婚をして10年前に富山に行き、4人の子供に囲まれて生活していた彼女が町づくりに関わろうと政治活動にチャレンジしました。

どうやら彼女は自ら動いて幸せをつかむ能力があるようです。

かしも通信としても、チャレンジに至った経緯やその後の活動などぜひインタビューをしてみたいと思います。

彼女の今後の政治活動においてかしも通信なるものに関わっていることが発覚し辞職に追い込まれるなんてことにならないよう、今後も真面目にかしも通信を続けなくてはなりません。

まずは善田さんにインタビューのお願いをしてみようと思います。

秘書を通してくださいなんて言われたりして!

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介!
食には文化があらわれる。



しそ、チーズ入り団子

昭和40年から50年ごろ婦人会が盛んなころの小和地婦人会手書きの文集を見せてもらった。凄い!! (いつか紹介したい)

婦人会で料理コンクールがあり、応募した「しそ入りチーズ団子」を紹介してくださいました。手作りの味が絶品。当時はハイカラだったと思う。今は手の込んだ料理を作るとしあわせを感じる。さあ!挑戦してみよう。家族のしあわせな顔が見えますように!



材料

ご飯
ベビーチーズ
しそ
片栗粉
油

作り方

- ①ご飯を握れる位につぶす。
- ②チーズ、しそを、細かく切って混ぜる
- ③片栗粉をまぶして油であげる。
- ④五平の時のようなたれを作り、かけていただく。

絵手紙: 加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627



小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2022年8月25日発行 No.209

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!



小 真っ赤に色付いたトマト



保 保育園夏祭り

学校 ▶ 5年生が総合的な学習の時間に育てているトマトが、真っ赤に色付いてきました。

春から加子母のトマト組合の方々にご指導いただきながら、仮植、定植、誘引、脇芽取りなどの作業を行ってきました。夏休みに入っても毎日当番を決め、水やりなどの作業を続けています。

夏の暑さに負けないトマトはぐんぐん生長し、真っ赤に色付き、収穫できるようになりました。小さな小さな苗が、今では大人の背丈を超えるほどに大きくなり、実を付ける様子に、植物の生命力、たくましさを実感しています。

子供たちは加子母のトマト農家の方々から専門的な栽培について学び、その大変さを知るとともにトマトに対する情熱を強く感じています。今後も地域の方にお世話になりながら、学びを重ねていきたいと思っています。

保育園 ▶ 3年ぶりに保護者会主催、加子母保育園の夏祭りを開催することが出来ました。コロナ禍でしたので、年長さんから皆初めての経験です。

役員さんも子ども達に色々楽しませてあげようと、様々な企画を考えて準備して下さいました。数年前は前日の準備や当日の片付け等、役員さんのみで行って見えましたが、近年は運動会同様、保護者の方が全員参加で手伝って下さいます。園児数は減少傾向ですが、チームワーク力は向上しています。心配していた天気も良くなり、コロナ禍での健康チェックカードの提出に加え人数も制限してありましたが、子どもの歌や踊り、クラウンショー、出店等盛りだくさんの内容で大人も子どもも笑顔が絶えない楽しい時間になりました。

乳 幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば感染症拡大防止対応の『くるりんば開放日』を設けています。



9月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合がありますので、ご承知おください。

1	木	加子母地区 結核・肺がん検診 【小学校】命を守る訓練 【中学校】あいさつ運動
2	金	加子母地区 結核・肺がん検診 【中学校】前期期末テスト
3	土	
4	日	
5	月	【保育園】身体測定 【小学校・中学校】小中合同運動会に向けた合同練習会
6	火	
7	水	【保育園】ALT訪問
8	木	2歳児個別相談～付知会場 (↑ 受付時間は個別で案内します) 【保育園】誕生日会
9	金	【保育園】避難訓練 【小学校・中学校】小中合同運動会に向けた合同練習会
10	土	
11	日	大型・有害ごみ(9～13)
12	月	【小学校・中学校】小中合同運動会に向けた総練習会
13	火	
14	水	
15	木	1歳児・6か月児個別相談～付知会場 (↑ 受付時間は個別で案内します)
16	金	
17	土	【小学校・中学校】小中合同運動会
18	日	不燃・硬質・資源ごみ(17～18)
19	月	敬老の日
20	火	【小学校・中学校】振替休業日
21	水	【小学校】ささゆり学級下呂特別支援交流会 【中学校】KDDIによるケータイ安全講話
22	木	BCG 予防接種(午後)～福岡会場
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	区長会(14～)
27	火	人権相談(13:30～15:30)
28	水	【中学校】薬物乱用防止講座
29	木	
30	金	3歳児健診(午後)～福岡会場 【中学校】第2回英語検定一次試験



こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

新型コロナワクチン接種のお知らせ⑯

■ 4回目接種を行なっています

接種対象者は、3回目接種日から5カ月経過した

①60歳以上の方

②18歳以上の基礎疾患があるか、重症化リスクが高いと医師が認める方

③医療機関・高齢者施設等従事者

■ ワクチン接種はお早めに

接種時期が来たら早めの接種をご検討ください。

☞ 広報なかつがわ9月号22ページ参照



中津川市HP

■ 中津川市コロナワクチンコールセンター

☎0573-65-5100 (受付時間：平日9時～17時)

マイナンバーカードの受取り申請が総合事務所でも出来るようになりました。

マイナンバーカードの交付申請を済ませた方の受取りのための手続きが総合事務所や地域事務所でも出来るようになりました。受取りには『本人確認』と『パスワード(暗証番号)』の登録が必要です。

総合事務所や地域事務所を受取りの手続きを行い、後日、簡易書留等により郵送されます。

速くの市役所までは受取りに行けない等、お困りの方はぜひご利用下さい。

詳しくは加子母総合事務所

☎0573-79-2111へお尋ね下さい。

図書室だより[8月おすすめ図書]

■ アドリブ (著 佐藤まどか)

イタリア、トスカーナの小さな町に暮らす少年、ユージ。フルートとの電撃的な出会いから5年、ユージは岐路に立たされていた。本気でめざしても、プロになれるのはひと握り。クラシック音楽界のきびしさを目の当たりにした、15歳のユージの決断とは…。

■ 史伝北条政子 鎌倉幕府を導いた尼将軍(著 山本みなみ)

鎌倉幕府の初代将軍・源頼朝の妻にして、二代執権北条義時の姉である北条政子。マイナスイメージの強い彼女だが、同時代史料から浮かび上がる政子の姿は違う。類まれなる政治力を発揮した女傑の全貌を明らかにする1冊。

■ 人気の改良メダカ(上手な飼い方)育て方・殖やし方・最新品種の紹介(著 森文俊)

誰にでも改良メダカの飼育を楽しんでいただける実用書。写真の美しさ、掲載点数の多さ、記事内容の充実さで、他に類を見ない内容を作り上げています。

■ たんたのたんけん(さく 中川李枝子 え 山脇百合子)

8月29日はたんたの誕生日です。その日、どこからかふしぎな地図がまいこみました。矢印や△印の書いてある、たんけん地図のようです。さっそく、たんたはたんけんに出発です。すると、どこからか、へんなひょうの子があらわれて…。50周年改訂版。

■ 宇宙の神秘 時を超える宇宙船(作 ルーシー・ホーキング 訳 さくまゆみこ)

AIロボットとロケットで宇宙へ飛び出したジョージ。想定外の到着先は…。現在の先端科学のホットな話題、その先の可能性の世界を描く壮大な宇宙冒険物語。シリーズ完結。



加子母の人口と世帯数(令和4年8月1日現在) 世帯数:958世帯 男:1,242人 女:1,295人 計:2,537人